

災害に備えて



いざというときのために確認しておきましょう

連絡方法

家族が別々の場所にいるときに災害が発生した場合に備えて、日頃から安否確認の方法や集合場所などを話し合っておきましょう。災害時には、携帯電話の回線がつながりにくい場合もあります。そのようなときには以下のサービスを利用しましょう。

災害用 伝言ダイヤル 171

災害時には電話がつながりにくなります。「災害用伝言ダイヤル 171」に電話をかけると、伝言の録音や再生ができます。

171に
電話する

伝言を残すには ▶ 1を押す→自宅や自分・家族(被災地内)
(録音方法)の電話番号を市外局番からダイヤルする
→伝言を残す

伝言を聞くには ▶ 2を押す→連絡を取りたいかた(被災地
(確認方法)内)の電話番号を市外局番からダイヤル
する→伝言を聞く

災害用 伝言板

NTT及び携帯電話会社各社が提供する「災害用伝言板」は、災害時インターネット接続が可能な場合に利用できます。

- Web171 (NTT) → <https://www.web171.jp>
- NTT docomo → <https://dengon.docomo.ne.jp>
- ソフトバンク/Y!mobile → <https://dengon.softbank.ne.jp>
- au (KDDI) → <https://dengon.ezweb.ne.jp>

※災害用伝言板は、大きな災害が発生したときに提供が開始されます。サービスの詳細については、NTT及び携帯電話会社各社の説明を参照してください。

体験利用が可能な日

毎月1日、15日、1月1日～3日、防災とボランティア週間、防災週間

わが家の防災メモ

家族の連絡先 ①

②

③

④

集合場所

避難場所や避難経路

防災ガイドブック等を活用し、避難場所や避難経路を事前に確認しておきましょう。
防災ガイドブックは「岡崎市防災ポータル!」でも閲覧が可能です。



非常用持出し袋を備えよう

災害時の非常用持出し袋（0～3歳児用）

避難するときに、持ち出すものをまとめた袋を「非常用持出し袋」といいます。災害時のために特別に準備しようとする、面倒に感じたり、準備した物が期限切れになってしまうことがあります。そのようなことがないように、日々の外出時に使用するマザーズバッグなどの中身を少し工夫することで、非常用持出し袋に代用できるようにするとよいでしょう。ここでは、乳幼児のいるご家庭で準備しておくとい物をご紹介します。この他にも、各家庭の実情にあわせて必要なものを準備しておきましょう。

大人が一度に持ち出せる重さは、10～15kgが目安です。

乳幼児用持ち出し品



ミルク・水（軟水）・哺乳瓶

母乳の方でもスティックまたは液体ミルク数本と水・哺乳瓶があると安心



オムツ

災害用に少し多めに



おしり拭き

体ふきに代用できます



母子健康手帳



離乳食やおかし・おもちゃ

どちらもお気に入りBEST!



衣類・下着



ガーゼ タオルなど

災害に備えて

大人用持ち出し品



運転免許証

身分証明書にもなります



衣類・下着

洗濯できないときのために



水・非常食

すぐに食べられるものがGood!
最低3日分の用意!



通帳・印鑑・現金

小銭もあると便利です
通帳はコピーでもOK!



常備薬・お薬手帳

処方箋でもOK!
応急グッズもあるとGood!
お薬手帳はコピーでもOK!



ウェットティッシュ・タオル・生理用品



マスク・体温計・手指消毒用アルコール

感染症対策として準備しましょう



レインコート

防寒着としても利用できます



携帯ラジオ・ライター

電池も忘れずに!



携帯電話

モバイルバッテリー・充電器も一緒に!



眼鏡

コンタクトレンズでもOK!



懐中電灯

ヘッドライトもあると便利



元気づけてくれるもの

化粧品や自分のお気に入りグッズなどがGood!



おうちの中には、こどもの興味を引く「危険」がたくさんあります。
 あてはまる場所やものの位置をしっかりと確認して、
 事故対策を家族で考えておきましょう。



